

令和4年度  
第1回加賀市健康福祉審議会高齢者分科会会議録

日 時：令和3年6月23日（木）午後1時30分～2時40分

場 所：加賀市役所別館302・303会議室

出席委員：◎橘、○吉野、浅山、石川、小川、河嶋、北出、澤田、鈴木、中野、中屋、  
東田、松村、松本、横倉、横谷

欠席委員：小林

（敬称略・◎会長、○副会長）

次第

開 会  
委員委嘱  
議 題

1. 高齢者お達者プランの実績について
  - (1) 介護保険事業計画第8期1年目の実績について 【資料1-1】
  - (2) 高齢者福祉計画第8期1年目の実績について 【資料1-2】
2. 保険者機能強化推進交付金について 【資料2】
3. 地域包括支援センターの運営について
  - (1) 令和3年度の実績について 【資料3-1】
  - (2) 令和4年度の体制について 【資料3-2】
4. 介護予防支援委託事業者の報告について 【資料4】
5. 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について 【資料5】
6. 地域密着型サービス事業者の公募について 【資料6】
7. 第9期計画策定に係る調査について
  - (1) 市民意識調査について 【資料7】

閉 会

議事要旨

委員委嘱

委員の交代により新たに松本委員、浅山委員、東田委員に委嘱状を交付し、自己紹介をした。

議題1 高齢者お達者プランの実績について

- (1) 介護保険事業計画第8期1年目の実績について 資料1-1
- (2) 高齢者福祉計画第8期1年目の実績について 資料1-2

質疑応答

中屋委員 資料 2 ページの重症化予防の推進について、運動の無料体験は非常に良いことだと思うが、実際に筋力向上トレーニングや水中プールには何人が参加したのか。活動の場所に行くための交通機関などについて配慮することや、水中エアロビクスなどがあると提案すれば、現在どれだけの人数が参加しているかはわからないが、参加人数も増えると思う。提案型の運動の推進をお願いしたい。

事務局 筋力向上トレーニングや水中プールの参加人数はお調べしたうえで回答します（調べた結果、参加実人数は 50 人である。）。

## 議題 2 保険者機能強化推進交付金について 資料 2

### 質疑応答

橘会長 資料 2 ページの下段の評価指標Ⅱ-(5)については点数が低い結果であるが、介護予防・日常生活支援に力を入れているとの説明があったため、今後点数が上がることを目指して達成できると考えているのか。また、評価指標Ⅱ-(7)に加賀市採点分がないのは、対象がないからなのか。

事務局 評価指標については、新たに創設されたり、なくなったりするなど、毎年若干の変更はあるが、多くは同じ指標が引き続き用いられている。7 月以降には、令和 5 年度の評価指標が示されるが、次年度の評価指標に係る取り組みは、今年度の取り組み予定が評価されるので、今ある評価指標の中で点数を得られそうなものがないか課内で協議している。取れる点数については取っていく方向で考えている。また、評価指標Ⅱ-(7)の加賀市採点分がないものについては、すべて国のデータに基づいて評価される項目であるためである。

橘会長 180 点中の 60 点なので、ここが上がると全体も結構上がるのではないかと考えた。

中屋委員 5 ページに通いの場とあるが、ほとんどが 0 点である。加賀市には、通いの場には何人が通っているのか。

事務局 昨年度の実績で、1,572 人が地域おたっしやサークルに登録している。

中屋委員 0 点になっているのは、ほとんど対応していないということではないか。

事務局 減点項目にある通り、経年的評価の分析など、そのようなところまで人数を把握できていないため 0 点になっているが、他の通いの場も含めて、参加者の健康状態を把握できるように取り組みをしていき、加点していけるように考えている。

中野委員 先ほどの実績報告で、アプリや動画サイトの活用があったが、どれほどの参加があり、評価のところにどれだけ反映されるのか。

事務局 通いの場アプリは国の事業であり、加賀市内で実施した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、実際に説明会に来てアプリを導入したのは 77 人であった。想定より少ない結果であったため、今後アプリの導入を推進していきたい。アプリを導入すると出席数等が連絡されるので、ここでい

う通いの場アプリの評価・分析については点数が上がるのではないかと考えているが、非常に厳しい評価項目であるので、何点上げられるかは回答しかねる。おたっしゅサークルだけでなく、元気はつらつ塾も通いの場として取り扱っているので、まずは元気はつらつ塾から、体力測定等を評価しながら、改善・維持等を分析しながら、点数を取りたいと考えている。

議題3 地域包括支援センターの運営について

(1) 令和3年度の実績について 資料3-1

(2) 令和4年度の体制について 資料3-2

質疑応答 特になし

議題4 介護予防支援委託事業者の報告について 資料4

質疑応答 特になし

議題5 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について 資料5

質疑応答 特になし

議題6 地域密着型サービス事業者の公募について 資料6

質疑応答

澤田委員 資料5 ページでグループホームの再開に向けてとあるが、休止しているグループホームは何件あるか。

事務局 4事業所分が休止中である。

澤田委員 再開の見込みはないのか。

事務局 資料5 ページに記載のとおり、法人への調査を行ったうえで、再開できないという回答を得ている。

澤田委員 施設が休止しているために待機している高齢者が多くいると思うが、待機人数は概ねどのくらいであるか。

事務局 資料4 ページの下段のグラフに入居待機人数が記載されている。また、半年に一度、介護事業所のサービス供給量調査を行い、グループホームの入居待機者数を把握している。令和3年9月30日時点で98人おり、令和2年ごろから待機者数が増加傾向である。

澤田委員 施設が少なくなったので、入居待ちの人が多いのかと思った。

中野委員 休止中のグループホームが再開を希望したときの取り扱いは、新たにグループホームができることによってどのようになるのか。

事務局 今期の計画上では再開の目途が立っていないため、第9期計画の策定時には検討していきたい。

中野委員 再開ではなく、新規の開設と同様の取り扱いであると考えてよいか。

事務局 その通りである。

議題7 第9期計画策定に係る調査について

(1) 市民意識調査について 資料7

質疑応答 特になし

閉会